

平成29年9月21日
スマートソーラー株式会社

『香川県さぬき市御田神辺（みたかべ）池における
フロート式水上メガソーラー・御田神辺池ソーラー発電所
完成を記念して竣工式を開催』

この度、スマートソーラー株式会社（東京本社：東京都中央区、代表取締役社長：手塚博文、以下当社）は、香川県さぬき市において、日本アジア投資（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：下村哲郎）様が事業主のフロート式水上メガソーラーの設計・施工監理を担当し、「御田神辺池ソーラー発電所」が完工・売電を開始し、9月9日に竣工式を地元パートナーや工事会社参列のもと開催されました。

弊社では、初となるフロート式水上メガソーラーは、通常の地上設置型太陽光発電所に比べて、造成工事による森林破壊を伴わないこと、「ため池」の為遮蔽物が無いこと、さらに、水面による冷却効果等でパネル温度上昇が抑制される為発電効率が良い等のメリットが多いのが特長です。

近年メガソーラーの用地が減少しつつある中で、香川県には「ため池」が14千箇所以上あり、再生可能エネルギーの地産地消・地域の経済の活性化の観点から、当社は今後とも本案件の様なフロート式水上発電システムの普及拡大とその技術開発に積極的に取り組んでいく方針です。

□本発電所の特長

- ① 高効率太陽電池パネル295W・合計5,175枚（1,52MW）を、水抜き時の着底にも耐える内部充填型フロート架台を開発・設置し、国内初納入のコンテナ格納式変圧器一体型セントラルPCSを導入しました。
- ② フロート架台は、内部に発砲ポリスチレンを充填することで外皮が破損しても水没せず、モジュール差し込み口を、独自に改良することで長期の耐久性を向上させました。

当社は、全国各地に30カ所、合計200MWを超えるメガソーラー発電所を開発から設計・調達・建設監理、O&Mまで行っています。

既に16カ所（26.5MW）の発電所を建設・稼働し、9カ所（116MW）を建設中です。その内、自社所有の発電所は4カ所（5MW）、出資発電所は7カ所（130MW）となります。

地球温暖化防止と持続可能な社会の構築は、世界の国々の喫緊の課題です。太陽光発電は、その課題を解決し、我が国のエネルギー自給率を高める地域エネルギーです。今後は、分散型・蓄電式太陽光発電システムを核としたスマートシティ社会へ進むものと考え、その技術開発を推進していきます。



(写真上：御田神辺池ソーラー発電所 空撮)



(写真上：竣工式)

◆メガソーラー発電所の概要

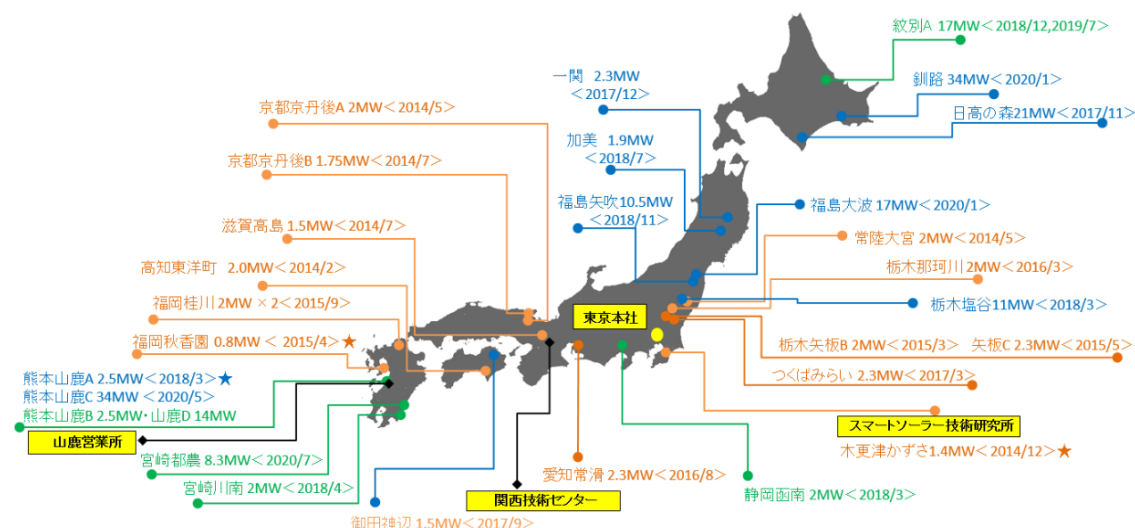
- 【事業主】 合同会社香川水上ソーラー第二
- 【発電所名】 御田神辺池ソーラー発電所
- 【最大出力】 1.52MW（太陽電池パネル設置容量）
- 【年間予想発電電力量】 約187万kWh
（一般家庭約530世帯相当の年間消費電力量：3,200kWh/年・世帯）
- 【買取価格】 32円/kWh（消費税含まず）
- 【売電開始】 2017年9月8日
- 【環境貢献】 石油削減効果（398kℓ/年）、二酸化炭素削減効果（973万kg-CO2/年）

◆発電事業者

社名	合同会社香川水上ソーラー第二 代表社員 一般社団法人 JAIC 自然エネルギー研究所 職務執行者 大内正紀
所在地	香川県高松市藤塚町1丁目10番30号アーバンスクエア高松ビル7階

◆設計・施工監理

社名	スマートソーラー株式会社
所在地	□東京本社：東京都中央区日本橋兜町13-1 TEL：（03）5623-2345 □スマートソーラー技術研究所： 千葉県木更津市かずさ鎌足三丁目9番地1
事業概要	(1) メガソーラー発電所の開発・建設・保守管理・リフォーム事業 (2) 発電事業化推進・証券化等アレンジメント・コンサルティング事業 (3) 学校・公共施設・高速道路等蓄電池付太陽光発電システムの開発、設計、事業化等事業
URL	http://www.smartsolar.co.jp



【図：メガソーラー実績】 ■完成済 ■建設中 ■開発準備中

◆報道機関各位。お問合せはこちらまで。

スマートソーラー株式会社 広報宣伝部 [担当：手塚亮史]

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町13番1号 兜町偕成ビル別館8階

電話 03-5623-2345 rtezuka@smartsolar.co.jp